



# 消防学校 ニュース



令和6年7月号

## 初任科 校長通常点検

— ついに来た！緊張の一瞬 —



屋内訓練場に全員整列



通常点検開始



校長による厳しい点検



緊張する初任科学生



校長からの訓示

初任科学生が入校して3か月が経過し、この間、毎朝欠かさず教官による通常点検を実施してきました。

通常点検とは、消防活動に際し有効適切な措置をとるよう、人員、姿勢、服装、手帳等の点検をし、その不備の点を整備又は反復訓練して是正し、常に消防活動の万全を期するようしておくことを目的としています。

7月2日（火）、ついに校長による通常点検が実施されました。校長点検は学校に慣れてきた初任科学生にとって大いに気が引き締まる場面です。

# 初任教育本格化

～基本なくして応用なし～



座席懸垂降下訓練



車外救出訓練



ロープ渡過訓練（セーラー）



ロープ渡過訓練（モンキー）



破壊器具取扱訓練（チェーンソー）



破壊器具取扱訓練（エンジンカッター）



強制ドア開放訓練



模擬家屋の燃焼



シャッター破壊訓練



シャッター水圧解錠訓練



かかえ救助訓練



応用放水訓練



救急訓練



スキndaイピング



手話

入校して約3か月、座学・実科訓練及び寮生活を通じて、徹底的に必要な基礎教育が行われてきました。

これから本格的な夏を迎え、気温も更に高くなり、厳しい環境下での教育訓練になります。

今後も、学生は「あたりまえ力」はもちろんのこと、自らが「気づき・考え・行動」できるように、教官の厳しい指導を受け訓練に臨みます。

# 危険物取扱者試験

## 初任科第 95 期

～合格率 100% をめざして～

「危険物取扱者試験」は、消防法に基づく危険物（火災の危険性が高い物質をまとめて指定）の取扱いや、その取扱いに立ち会うために必要となる国家資格です。資格取得のための試験は、現在、全都道府県の指定試験機関（総務大臣が指定）である一般財団法人消防試験研究センターが行っています。

消防試験研究センター静岡県支部の協力により、6月20日（木）、本校において初任科生を対象とした危険物取扱者試験が実施されました。

### （担当教官のコメント）

本年度の危険物取扱者試験では、初めて試験を受ける学生 100 人は「乙種第 4 類」、乙種第 4 類を既得学生 10 人は「他の類」を受験しました。多くの学生にとっては初めての国家試験となりますが、「**初任科第 95 期 全員合格!!!**」を目標に掲げ、入校して直ぐに学習を始めました。

試験に係る学習では、『火災のメカニズム』や『消火理論』を十分に学ぶことができるとともに、広範多岐にわたり利用されている『危険物』に対する知識も習得することができます。学生には、「危険物取扱者試験」に関する知識を習得することは、日々、災害対応する消防職員にとって必要不可欠であることなど、本資格試験にチャレンジする目的や重要性を十分に説明した上で、第 95 期一丸となって試験対策に取り組みました。

目標の全員合格は達成できませんでしたが、全国の合格率 42.1% を大きく上回る 92.7% と高水準の合格率で無事に試験を終えることができました。

学生は、試験を通じて集団生活での勉強の難しさ、時間の有効活用等、多くの事を学んだと思います。今後は「他の類」や予防技術検定等、消防業務に関係する試験に積極的に臨んでほしいと思います。

教務課主査 飯塚 誠（静岡市消防局から派遣）

## 試験結果

試験日 令和 6 年 6 月 20 日（木）  
合格発表 令和 6 年 7 月 9 日（火）

	受験者	合格者	合格率
乙種第 4 類	100 人	92 人	92.0%
乙種第 2・3・6 類	10 人	10 人	100%
全体	110 人	102 人	92.7%

## 満点合格者



（左）浜松 水落学生 （右）御前崎 後藤学生

### 【過去の合格率】

区分	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	81期	82期	83期	84期	85期	86期	87期	88期	89期	90期	91期	92期	93期	94期	95期
乙4のみ	52.2%	53.3%	42.1%	58.3%	72.8%	71.0%	91.6%	94.6%	90.0%	87.0%	97.4%	95.3%	98.8%	78.1%	92.0%
乙4+各種	54.1%	55.7%	45.7%	62.5%	74.7%	75.7%	90.7%	94.9%	91.0%	88.8%	97.7%	95.8%	98.9%	80.6%	92.7%

## 新任教官紹介

## ～大いなる成長を期待しています！～

今年度、消防学校に新たに加わった3人の教官を紹介します。3人は4月からの慌ただしい中、先輩教官の指導の下、試行錯誤しながら、初任科学生からの刺激も受け、業務に取り組んでいます。優秀な教官を派遣していただいている消防本部（局）には、心より感謝申し上げます。



目標として来た学校教官業務は先輩教官をはじめ、初任科生や担当させていただいた水難救助科生など多くの出会いや学びがあり、この場に立てていることに感謝する毎日です。

初任科学生と過ごしてきた3か月は消防官として成長していく姿を見ることが出来、感動や喜びを覚える毎日です。また、性格や価値観が一人一人違う学生に対して指導する上で自分自身の指導スキルの乏しさに反省の毎日でもあります。指導ではやるべき行動に対するの意味を理解させるように努めています。また、初任科での生活や修了後の消防人生で様々な感情を抱く経験をしていくと思いますが、その経験をプラスに変化させることは自身の努力次第で必ずできることを伝えていきます。

自分自身が人との出会いで人生観が変化する事を経験してきました。出会う誰かの人生に影響を与えられる人になれるように精進していきます。

教務課主査 鈴木 雅人（富士山南東消防本部から派遣）

4月から消防学校の教官として着任し早くも3か月が経過しました。教官として仕事をする事の責任の重さを実感する中で、身の引き締まる思いで教育指導にあたっています。学生には、学校生活で様々な失敗をする中で、「気づき力」を磨くことで、問題点を考え、意欲的に行動し、自己成長に繋げられる教育指導を心がけています。

「規律の厳守」「技術の錬磨」「体力気力の錬成」の校訓の下、学生が社会人としての自覚、消防に必要な規律と節度、知識、技術、体力をしっかりと身に付けたうえで、各所属に送り出せるよう教育指導を行っていきたいと思います。

教官として仕事をさせていただける事に感謝し、学生の教育指導を通じて県内消防行政の発展の一翼を担うことができるよう努力していきます。

教務課主査 都築 克典（静岡市消防局から派遣）



4月に消防学校教官に着任し、桜が満開のなか初任科学生を迎えるため慌ただしく準備をしていたのがまるで昨日に感じるような、怒濤のごとく過ごした3か月間でありました。私は主に救急の座学・実科の担当をしており、これまで自分が現場で得た知識・経験を少しでも多く学生に伝えたいと試行錯誤を繰り返している毎日であります。

「一隅（自分が今いる場所、環境）を照らす（最善を尽くす、全力を尽くす）」という人生訓を胸に私にとっての一つの隅（消防学校、初任科学生）を最優先に思い、全精力を懸けて照らすことで、さらにその各学生が今後、自分の置かれた場所で輝く光となって「光が届きにくい一つの隅」を照らすことができる消防人となるような教育をしていきたいと思っております。

教務課主査 田畑 誠（志太消防本部から派遣）

## 女性消防団員研修会(第7回)

7月7日(日)に女性消防団員研修会を開催し、県内の女性消防団員43人が入校しました。

「災害医療とトリアージ」に関する座学や、コントロールボックスやドールハウスを使った燃焼実験、屋内消火栓やガンタイプノズルの放水体験を行いました。

当日は、静岡市で観測史上最高となる40度に達した日でしたが、入校生は熱意を持って研修会に臨まれていました。



燃焼実験



放水体験

## 三沢校長から一言

最近、緊急車両に進路を譲らないドライバー、歩行者が多いと感じています。あまりにマナーが悪いので、窓開けて「止まれっ！」と叫びたくなります。消防関係者や読者の皆さんはそんなことないですね。私はサイレンが聞こえたらまず方向を確認、一番先にハザードを焚いて、車を左に寄せます。消防車、救急車の通過時には頑張っている隊員に敬礼！助手席の妻の冷たい視線を浴びます。救急車で家族が運ばれていたら、消防車があなたの自宅に向かっていたら、1分1秒でも早く病院へ、現場へ着いてくれ、と思わないヒトはいないでしょう。緊急車両には道を譲る、当然のことです。

さて、続いて初任科生の様子です。7月第二週は各所属での実務研修でした。初任科生を所属に預け、教官たちの貴重な夏休み期間でもあります。去年も書きましたが、実務研修では所属の先輩方をみて自分に足りないものに気付き、体力の強化と実戦を意識した訓練を行うようになります。今週は連日体温を超えるような猛暑の中、屋外で訓練を実施しています。7月22日午前には防火服を着用、夕方は防火服は着用しませんが、山へランニング、遅れた者はいませんでした。運動してはいけないほどの暑さの中ですが、ご承知のように夏だから火事がないということはありませんし、暑くても防火服を背負うのに慣れておかないと現場で困ってしまいます。野外訓練の脱落者が少なかったように、第95期の初任科生は体力はあると感じます。

ただ、座学について、上位は例年と変わらないものの、下位は「う～ん・・・」というレベル。我々としては体力はもちろん、知力も備えた消防士として送り出したい。残りは2か月、初任科生本人の頑張りは当然として、教官の厳しい指導にも期待しています。

来週は第2回野外訓練です。富士マリンプールから消防学校までの約30kmを夜通し歩いた後、学校で大規模災害訓練を実施します。

活動方針である「全員で業務完遂」達成してほしいです。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1  
☎ 054-369-1190 FAX 054-369-1197 E-mail fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp



★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索